

2017年度

理研イブニングセミナー

参加無料

理研の研究成果と研究活動を産業界に伝え、連携に結びつけることを目的として、企業の方を対象としたイブニングセミナーを開催します。

時間 17:30～18:30
(発表30分、質疑応答30分)

※講演後に名刺交換などの交流の時間を設けます。

会場

第40回・42回開催

【健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス三宮拠点】
兵庫県神戸市中央区雲井通5-3-1 サンパル7階

第41回・43回開催

【東京連絡事務所】

東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング15階

定員 各回 40名 **先着順** (1企業2名様まで)

※ご希望の回数にお申込頂けます。

参加対象は企業の方限定とさせていただきます。
お申込は事前登録制とさせていただきます。

神戸開催



第40回

会場：「健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス三宮拠点」兵庫県神戸市中央区雲井通5-3-1 サンパル7階

2/7 (水)

『iPS細胞からのインスリン分泌細胞作製と移植
～インスリン依存性糖尿病の根治治療～』

発表者：岩田 博夫 (健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム 融合研究推進グループ 健康制御チーム)

インスリン依存性糖尿病患者の根本治療として、インスリン分泌組織(膵島)の移植が行われてきました。この治療法が一般的な治療にならない原因は、①膵島の不足、②免疫抑制剤の強い副作用、③移植部員が肝臓、の3つの問題があります。この3つの問題を解決し“望むすべての方に適用できるように”との思いで研究を進めています。現在8回目まで来ることができた結果をお話します。



第41回

会場：東京連絡事務所 (東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング15階)

2/28 (水)

『酵素を用いた機能性ポリペプチド合成法の開発
～環境低負荷型のバイオ材料合成～』

発表者：土屋 康佑 (環境資源科学研究センター バイオマス工学研究部門 酵素研究チーム)

タンパク質加水分解酵素であるプロテアーゼを利用した簡便かつ環境負荷の低い合成法により、アミノ酸から様々なポリペプチドを合成する手法を開発しました。材料特性を支配するタンパク質モチーフを基にアミノ酸配列を適切に設計することにより、天然の機能性および構造タンパク質を模倣した様々なバイオミメティックポリペプチドを合成することに成功しました。非天然構造を持つ人工アミノ酸を導入することも可能で、さらなる機能化を追求します。

神戸開催



第42回

会場：「健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス三宮拠点」兵庫県神戸市中央区雲井通5-3-1 サンパル7階

3/7 (水)

『子どもの健康ソリューション開発
～子どもの疲労を測り企業シーズも評価可能に～』

発表者：水野 敬 (科学技術ハブ推進本部 健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム 健康計測解析チーム)

大人の残業と変わらないほど忙しい毎日過ごす子ども達。一日における活動時間が増えることで、慢性的な睡眠不足状態に陥り、疲れがとれない。私たちは慢性疲労が、学習意欲を低下させ脳機能の発達にも影響を与えることを明らかにしました。疲労緩和のためには生活習慣の是正が肝要です。一方、抗疲労に資するソリューション介入研究も重要課題であり、私たちは、産学連携により抗疲労ソリューション創出にもチャレンジしています。



第43回

会場：東京連絡事務所 (東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング15階)

3/14 (水)

『均一な抗体-薬物複合体 (ADC) の開発に向けて
～糖鎖改変技術の利用～』

発表者：山口 芳樹 (グローバル研究クラスター 理研-マックスプランク連携研究センター システム糖鎖生物学研究グループ 糖鎖構造生物学研究チーム)

抗体-薬物複合体 (Antibody-drug conjugate; ADC) は、がん細胞に結合する抗体に薬物を結び付けたものであり、次世代医薬品として注目を集めています。私たちは抗体に結合している糖鎖に着目して均一なADCの開発を試みています。

【お問合せ先】 理化学研究所 産業連携本部 連携推進部 技術移転企画課

TEL：048-462-5475 E-mail：evening-seminar@riken.jp

申込締切り

各回 (各開催日) 1週間前

※ 参加ご希望の方は会社名、氏名、電話番号、希望する回 (複数可) を記載の上、

件名を『理研イブニングセミナー参加申込』とし evening-seminar@riken.jp 宛にお申し込み下さい。